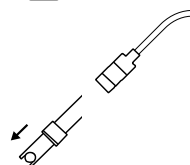
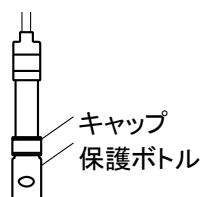


ガラス電極の保護について

PHP-31センサプローブにはガラス電極の乾燥を防ぐため、フタル酸塩pH標準液を入れたガラス電極保護ボトルを取り付けております。測定の際は保護ボトルを取り外して使用してください。測定が終了しましたら保護ボトルを取り付けて保管してください。

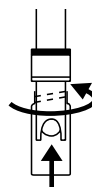
1. ガラス電極保護ボトルの取り外し方

- ①保護ボトル内の標準液がこぼれないよう、センサプローブを立てた状態で、キャップを押さえながら、保護ボトルを反時計方向に回して外してください。
- ②右の図のようにキャップをスライドさせてセンサプローブから外してください。



2. ガラス電極保護ボトルの取り付け方

- ①キャップを取り外したときと逆の手順でセンサプローブに取り付けてください。
- ②保護ボトル内の標準液がこぼれないよう、センサプローブを立てた状態で、キャップを押さえながら、保護ボトルを時計方向に回し、しっかりと取り付けてください。



- ③保護ボトルを取り付け後、センサプローブを押し込み、センサ先端を保護ボトルの底に着けてください。

注意：ガラス電極保護ボトルの取り付け、取り外しの際はボトル内の標準液がこぼれないよう注意してください。
標準液が手や皮膚についたときは、速やかに流水で洗い流してください。
万一、目に入った場合は直ちに水洗いして、医師に相談してください。

注意：ボトル内の標準液がこぼれた場合、ガラス電極の乾燥を防ぐため、フタル酸塩pH標準液を補充していただくか、蒸留水・純水・水道水を入れて保管していただくことも有効です。